

おめでとう はじめてのバースデー

11月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



11.20
菊地 琉生くん 内子19第2
いつもここに琉生くん♡ お兄ちゃんといっぱい遊びたいな♡



11.17
大塚 空央くん 岡第2
ねえね大好き♡ 早く一緒にたくさん遊びたい空央です！



11.8
植田 峻介くん 駄場
やんちゃで元気いっぱい！ 車や飛行機が大好きです♡

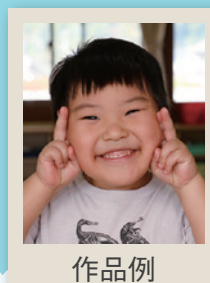


▷31年1月号の表紙

「広報うちこ」の表紙をSMILEでいっぱいになろう！

みんなの笑顔
を大募集！

あなたの撮った笑顔の写真が、「広報うちこ1月号」の表紙になります。広報の表紙を皆さんの笑顔の写真でいっぱいにはしませんか。年齢制限はありません。下記の募集要項を参照して、ぜひご応募ください。



作品例

募集要項

- 応募方法 撮影した写真を下記のメールに添付して、投稿者の氏名、住所、年齢、電話番号、被写体の氏名を書いてご応募ください。

✉ koho@town.uchiko.ehime.jp

- テーマ 笑顔

- 応募条件 被写体が内子町在住の人

- 応募期限 12月6日(金)

- 注意点

- ▷被写体の人の了解を得てご応募ください。
- ▷写真は縦で撮ってください。
- ▷1枚につき被写体は1人をお願いします。
- ▷特殊効果や文字の挿入など、画像加工した作品は掲載できません。
- ▷作品例のように、アップで撮影してください。

- ▷掲載時の大きさや位置などは選べません。
- ▷総務課に直接写真をお持ちいただいてもかまいません。
- ▷1人何点でも応募できますが、掲載については被写体1人につき1回限りです。
- ▷掲載に不適切であると思われる写真に関しては、掲載しない場合があります。ご了承ください。
- ▷応募多数の場合は、表紙以外の掲載になる可能性があります。ご了承ください。

【申込・問い合わせ】

総務課 広報・広聴係

☎ 0893(44)6151

応募待ってるよ



みんなであつないでリレーエッセイ



「残したい風景」

小野 里枝美さん(57)
〓昭和〓

小学1年の春、父の転勤でこの町に引っ越してきました。父が大久喜銅山に勤めていて、家族で広島県から戻っ

てきました。私には初めての五十崎での暮らしでした。高校卒業まで過ごし、31歳のときに主人と子どもと共に再び戻ってきました。以来26年が経ち、気付けば人生の大半がこの地で暮らしている計算になります。

豊かな自然、清らかな小田川の流れ、おいしい農産物、穏やかな人々の暮らし……。この素晴らしい環境に心を動かされ、長年「大きな榎の木の下で」や「元氣わくわく川まつり」などのイベント、自然観察会の活動に参加してきました。「もつとたくさんの人に伝えて、後世につないでいきたい」。そんな気持ちでだんだん強くなっています。

4年前からは子どもたちに内子の良さを知ってもらおうとNPO法人内子未来づくりネットワーク(うちみづネット)

を立ち上げました。環境の良さを会員の皆さんと一緒に楽しむ体験活動を企画したり、小学生や幼稚園児の環境学習のサポートをしたりしています。子どもの好奇心あふれる瞳と新しい発見に私の方が元気をもらっている毎日です。

私のお気に入りの場所は五十崎地区、あけぼの橋の河原下手から見渡す広い草原と空です。春には桜並木、夏には山から立ち上る入道雲と夕焼け、夜空には満点の星と天の川を見ることが出来ます。鮎取りの漁師さんたちが投網を打ち、川と共に生きる暮らしが当たり前にある。そんな風景が大好きです。ずっと残していきたいと願っています。

▼次は、山岡弘さん〓本町〓にお願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会



今月の食改さん
山田千壽子さん
=祝谷=

●材料(4人分)

サツマイモ1/2本／レンコン80g／ニンジン1/2本／鶏むね肉200g／片栗粉大さじ2／油適量／レタス適量／Aしょうゆ大さじ2、みりん大さじ2、砂糖大さじ2、黒ごま大さじ1

●作り方

①サツマイモとニンジンに乱切りにし、レンコンは半月切りにする。鶏むね肉は一口大に切る／②①に片栗粉をまぶす／③フライパンに多めの油を引いて熱し、②を入れ、揚げ焼きにする／④具材に火が通ればAを入れ、味を絡める／⑤レタスを添えて器に盛り付けたら完成



季節の一皿

SPECIAL DISH

「サツマイモと根野菜の甘露煮」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」11月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①今月号のリレーエッセイのタイトルは「○○○○○●○○○」
- ②神輿・獅子舞・御供相撲——。町内各地で「○○○○○○●○○」な秋祭り
- ③音楽活動で小田を盛り上げる「○○○○●○○○○○○○○○○」2019
- ④先生は五十崎の紙技名人。和紙で「○○○○○●○○○○○○○○○」
- ⑤7月豪雨災害の減災活動を高く評価。内子町消防団に「○○○●○○○○○○○」表彰

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：11月30日（消印有効） 当選者発表：「広報うちこ」1月号

● 9月号当選者の皆さん

- 答え「ひがんばん」 正解数36
- ・沖野真由美さん（内子5）
 - ・名本 暁祐さん（内子11）
 - ・薦田 和子さん（内子18第2）
 - ・武田トミ子さん（護国）
 - ・大野 千里さん（池田）
 - ・東 薫 さん（平野）
 - ・瀧宮 義孝さん（成内）
 - ・堀本スエ子さん（中通り）
 - ・松田 樹さん（大阪府）
 - ・川島 広美さん（三重県）

二酸化炭素（以下、CO₂）の排出量が少ないなど、環境に優しい移動方法を選択することを「スマートムーブ」といいます。環境省は地球温暖化対策の一環として、この取り組みを推奨しています。

くらしのエコロジー

「スマートムーブ」で 毎日の移動をエコに

- 車などで職場や学校、買い物に行く際のCO₂排出量は、生活に伴う排出量全体の約4分の1を占めています。日々の移動方法を見直すことで、CO₂の排出抑制や地球温暖化対策に大きな効果が期待できます。エコで賢い方法を選択して、CO₂排出量の少ない移動に挑戦してみましょう。
- 《スマートムーブの心得》
- ▽近距離であれば自転車、徒歩で移動する
 - ▽車を購入する際は、CO₂の排出量が少なく燃費の良いエコカーを選ぶ
 - ▽公共交通機関を利用する



自転車や徒歩の移動は環境にいいだけでなく、健康づくりにもなります

- ▽長距離移動は工夫すれば大幅なCO₂削減が見込まれるため、事前に最適な移動手段をよく確認しておく
 - ▽エコドライブを実践する
 - ※エコドライブについては、31年3月号で詳しく紹介しています。
- 【問い合わせ】
環境政策室
☎0893（44）6159

INSTAGRAM



＼みんなが見つけた／
内子のいいところ「うちコト」



solfa.odaさんの投稿写真
小田深山から見た虹の風景

山々から青空に向かってくっきりと架かる虹。よく見るとダブルレインボー！いいことが起こりそう。皆さんも「#うちコト」で内子のすてきを投稿してみてください。

uchikoto_official
QRコードをスキャンすると簡単にアカウントを見られます。



ソフトボール国体3位で有終の美

みすず
久保美涼さん（18）上宿間、栗田さやかさん（18）内子18第2

久保美涼さんと栗田さやかさんは、聖カタリナ学園高校ソフトボール部の3年生です。9月から行われた茨城国体に愛媛県少年女子代表として出場し、3位入賞を果たしました。栗田さんは全試合で先発投手として好投を続け、久保さんも初戦で勝利を呼び込むファインプレーを見せるなど、チームに貢献しました。久保さんが「代表として全国に行くのが目標だった。優勝したかったけれど、結果に胸を張りたい」と話すと、栗田さんは「大会前に調子を崩して、不安があった。試合の中で修正しながら、最後は自分を信じて納得の投球ができた」とにっこり。

二人はインターハイにも出場するなど、輝かしい成績を収めてきましたが、ソフトボールは高校で引退します。「誘いもあったので、すごく悩んだ。今まで頑張ってきたことを自信に、新たな道に進みたい」と栗田さん。久保さんは「辛いこともあったけれど、続けてこられたのは家族と仲間の支えがあったから。人としても成長できて、ソフトボールをやっていた良かった」と晴れやかな表情を見せました。



▲聖カタリナ学園グラウンドでポーズを決める久保さん（左）と栗田さん。久保さんはネイリストを目指して、栗田さんは経営学を学ぶために、それぞれ別の道を歩み始めます——



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

残りの時間を大切に過ごしたい

先月、廿日市の地方祭がありました。私はこれまで獅子舞で参加してきましたが、今年は都合で参加することができませんでした。来年の夏には内子町を離れることが決まっているので、最後にもう一度舞ってみたかったです。

新しいALTのキリアンさんの練習に付き添い、彼が練習する姿を見ていると、自分が初めて参加したときのことを思い出しました。古木と蚊取り線香、日本酒の香りが漂う境内へ初めて足を踏み入れたときのこと——。それまで経験したことがない空間でした。

内子町では、これまでたくさんの驚きや感動に出会えました。まず驚いたのは、自然の豊かさです。特に、トンボの色鮮やかさに

は感動しました。セミの声は最初うるさく感じるほどでしたが、今では心地よい音楽のように聴こえます。四国の山は、どこに行っても刺激的でした。アイルランドには木々に囲まれた険しい山がないので、私にとっては新鮮でした。石畳に向かう山道や大瀬の橋の下に舞い降りるチョウ、きらきら輝く小田川は、特にお気に入りの景色です。最近では「これが内子町で過ごす最後の秋かな」などと、特別な思いを抱きながら過ごしています。

内子町でもう一度挑戦したいこと、経験したいことがたくさんあります。会いたい人もたくさんいます。帰国までの残りの期間を、大切に過ごしたいと思います。



4年前、ピーターさん（後列右）が初めて地方祭の獅子舞に参加したときの一枚



FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

外国語指導助手
ピーター・コール

Peter Cole